



防災、防犯の取組と地域力について DXと生成AIの活用について

飯島 一志 議員



質問 地域の防災訓練の現状と課題について伺います。

答弁 自主防災組織は、そのほとんどが他の役員との兼務であり、防災に特化した人材が少ない状況です。防災訓練は役員だけが行うものではなく、地域の様々な方が参加することが必要であり、そのような環境づくりに努めることも重要であると考えています。

質問 地域防犯活動を推進するに当たつての課題について伺います。

答弁 防犯カメラや防犯灯などのハード面と、防犯パトロールといったソフト面での両輪で効果を発揮するものと考えています。地域

との関わりが希薄になる中、担い手が不足していることも大きな課題として認識しています。

質問 地域力向上に向けた事業について伺います。

答弁 地域住民が集う、学ぶ、結ぶ機会を提供し、世代間交流をはじめ、交流できる場づくりに努めています。体験を通して、お互いに協力して助け合う、共助の取組を主体的に行えるよう事業を続けていきたいと考えております。

質問 DX化に伴うセキュリティを含めた取組状況について伺います。

答弁 Wi-Fiの設置、AI議事録、窓口業務支援システム、フロアコンシェルジュの配置などを行い、セキュリティ対策についても、職員研修などを通して注意喚起を行っています。

質問 今後の取組と将来像について伺います。

答弁 生成AIの活用を推進し、今後は、日常業務の多くを効率化することで、

職員はよりクリエイティブな業務に専念できるようになります。また、大量のデータを分析することができるようになるため、地域の課題をより正確に把握し、効果的な政策を立案することが可能になるので、地域社会全体の発展に寄与するところが期待されます。



GIGAスクール構想で配備された 端末の更新とHPVワクチン接種について

平井 玲子 議員



GIGAスクール構想で配備された端末の更新

質問 本市の端末の更新時期は。

答弁 令和8年度に更新を予定しています。

質問 買い換えの必要数は。

答弁 小・中学校の児童生徒数分となる約5000台を予定しています。

質問 財源も含め、更新端末の調達については。

答弁 国の予算で都道府県に基金をつくり、そこから補助金を交付するものとなっております。本市におきましては、国の基準に従い、更新端末の共同調達を行いたいと考えています。

質問 文部科学省では更新

端末への補助に当たり、端末の整備・更新計画の考え方及び更新対象端末のリース、リサイクル、データ消去等、処分計画の策定・公表を義務付けています。本市では端末をどのように処分するのか。

答弁 データ処理が確実に行われたことを確認の上、国の基準に従い廃棄を実施したいと考えています。

HPVワクチン接種

質問 今回、キャッチアップ制度が条件付きで期間延長

の経過措置が取られました。令和7年3月末までに1回以上接種した方、限定です。対象者への対応は。

答弁 国からの通知を受け次第、周知啓発を広報紙、ホームページ、公式ラインやXなどで行いたいと考えています。また、令和7年度は個別勧奨通知の送付を予定しています。

質問 日本では男性は定期接種の対象となっていないが、一部自治体では独自に公費助成して接種を促し

ています。男性へのHPVワクチン接種について、県内の助成状況を含め、今後の市の考えは。

答弁 桐生市と渋川市でHPVワクチンの助成が行われています。本市としては、国や近隣の動向を十分注視しながら、引き続き研究、検討していきたいと考えています。

